

コロナ禍を踏まえたまちづくりの取組みについて

区では、全庁をあげて喫緊の課題である「感染拡大防止」、「区民生活支援」、「区内経済対策」等に取り組んでいる。まちづくり推進部では、コロナ禍において、この3つの視点から改めて事業の方向性を見直しており、この取組みの方向性について報告する。

記

1 今年度の事務事業の見直し

現在の状況を踏まえ、今年度の事務事業の緊急総点検を行い、執行に必要な予算を見直し、今回の補正予算（案）に反映した。

2 今後のまちづくり推進部の取組み

コロナ禍を踏まえた部の3つの経営方針を定め、段階的な取組みによる今後の取組みの方向性をまとめた。（別紙資料「自治体経営とまちづくりの在り方」参照）

今回定めた経営方針に基づき、コロナ禍においても、区民の生活復興や国土強靱化などの取組みを着実の進め、各種計画などの見直しなども行い、着実にまちづくりを推進する。

～ コロナ禍を踏まえた経営方針 ～

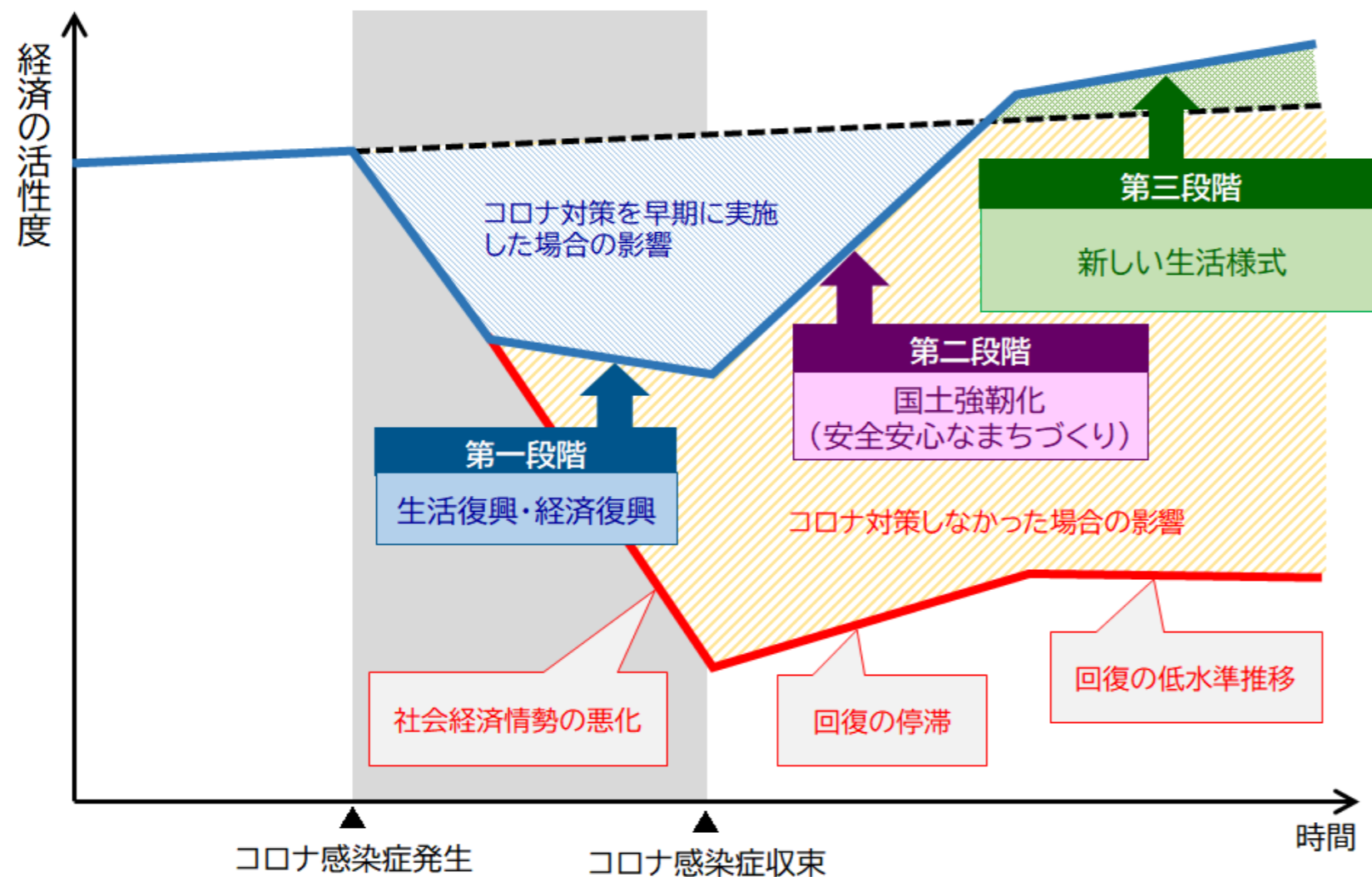
3本の柱

① 生活復興・経済復興の推進

② 「国土強靱化」への取組強化

③ 「新しい生活様式」の実現

・区の財政状況
・コロナの収束時期など } 複合的に展開し、
適切かつ効果的に実施



▶ 第一段階 生活復興・経済復興の推進

目的 区民生活の維持向上・区内業者の経済活性化

1 生活維持向上事業

- リフォーム助成事業、狭あい道路拡幅助成事業、私道助成事業、防犯灯設置助成事業、耐震診断・改修助成事業など

2 インフラ整備事業

- 道路・公園・下水道などの都市基盤施設の維持向上

3 区内業者の受注機会の増大

- 上記1・2に関連する事業の着実な遂行により、区内業者に対する受注機会の増大に寄与

▶ 第二段階 「国土強靱化」への取組強化

目的 自然災害に備えた都市機能の耐久力・復元力の強化

1 蒲田のまちづくり事業

- 「新空港線」整備を契機に、魅力ある快適なまちづくりを広範囲にわたり推進（駅前東口・西口）

2 大森のまちづくり事業

- 補助28号線と駅前広場の整備により、駅前空間を確保し、防災・減災に資するまちづくりを推進（駅前西口）

3 耐震化・不燃化事業のさらなる推進

- 事業全体を再構築し、災害に強い安全なまちづくりを推進

▶ 第三段階 「新しい生活様式」の実現

目的 アフターコロナの視点から取り組むまちづくり

1 公共空間を基軸とした都市構造への再編成

- 街路・公園・広場などの既存ストックを利活用し、「公共空間」を創造するゆとりある心地良いまちづくりにシフト

2 「ニュー・ノーマル」に対応した都市政策

- 急速なテレワークの浸透など「ワークスタイルの変化」を踏まえた住環境・まちづくりの整備
- 今後の都市のあり方（働き方・都市交通・公園緑地・都市防災など）を見据えたまちづくりの推進